原文　<http://www.coindesk.com/faq-what-is-bitcoin/>

ビットコインとは何か？

ビットコインはオープンソースでピアツーピアのプロトコルを利用して取引を行い、認証し、記録できるデジタル通貨です。政府や金融機関に支えられたり、金などのハードコモディティに固定されない分散型の通貨です。

ビットコインは10分毎に新規のビットコインを作成するアルゴリズムによって、デジタル的に生成されます。新たに作成されたビットコインはビットコインネットワークの参加者が「採掘」します。参加者自身のコンピューターを経由して一連の暗号化処理が行われ、全ての取引が認証されます。取引は全て、「ブロックチェーン」の名で知られるログに記録されます。ビットコインの取引記録を全て、ネットワーク上の台帳に記載して公開することで、ブロックチェーンはユーザーが通貨を二重に使用するのを防止します。

ビットコインはブロックチェーンで認証され、ピアツーピアベースで利用されるため、第三者（例えば銀行やクレジットカード会社）が取引を処理したり検証する手間をかけずに、世界中で送金のやりとりを行えます。仲介業者が入ると、ドルやユーロ、ポンドや円や元のような通貨を扱う時のように、取引額の何パーセントかを徴収されることになります。

<http://www.forbes.com/sites/jonmatonis/2012/11/16/whats-your-bitcoin-strategy-wordpress-now-accepts-bitcoin-across-the-planet/>

**ビットコインをどう扱っていますか？ワードプレスがグローバルにビットコインの支払いを受付始めました**

今朝はすごいニュースに起こされました。ウェブサイトサービスの第一人者、WordPress.comが中立で暗号化に対応した通貨であるビットコインを、購読や更新の支払いとして受け付け始めると宣言したからです。

考えてみれば、WordPress.orgは私が所属する組織のオンライン出版用プラットフォームに採用されています。また、ニューヨークタイムズ、CNN、ロイター、Mashable、NBC Sports、GigaOm、TechCrunch、ELLE Girl、RealClearPolitics、TED、National Football League、General Motors、 UPS、eBay、ソニー、フォルクスワーゲンのブログのプラットフォームでもあります。

この戦略的な動きにより、ワードプレスはこれまで対象外だった顧客を取り込むことができるようになるだけじゃありません。親会社のAutomatticが運営するオンライン出版用プラットフォームにとっても、支払いサービスを担当する会社のせいでサービスを提供できなくなる事態を防げます。ワールドワイドでビジネスを展開して支払いを受け取っている企業は、年々上がる手数料や突然支払い取消が起こる可能性にさらされており、収入に影響をきたしているはずです。ワードプレスは、たとえ大部分の支払い方法がビットコインに移行しても、別に気にならないでしょう。

WordPressをベースにしたサイトは5780万以上あり、120の言語で書かれ、毎月3200万件弱の新規記事が掲載されます。

支払いオプションの欠如と中央集権型の銀行・カード協会を批判して、ワードプレスのスポークスマンであるAndy Skeltonはこう言います。「クレジットカードやペイパルと違って、ビットコインには権威となる組織が存在せず、国をまるごと対象から排除するなどということはありえない。ビットコインを受け付ければ、業者は誰とでも取引が可能になる。」世界中が直ちに、ワードプレスの商品やサービスを扱えるようになるわけです。

「ペイパルをとってみても60ヶ国以上で使用不可になっているし、クレジットカード会社の多くが同様な制限を設けている」Skeltonは述べます。「政治的な理由でブロックされた場合もあれば、詐欺が多いことが理由である場合も、他に金融上の理由がある場合もある。いずれにせよ、ハイチやエチオピア、ケニアに住むブロガーが個人的な原因以外の理由で支払いができず、ブログを書けなくなるのは間違っている」（注意：WordPress.comからの声明には元々キューバとイラクが言明されていました）

それと同程度に強力な理由を挙げて、ビットコインマガジンのVitalik Buterinは ビットコインでの支払いを受け付けることについて解説しています。「ワードプレスは触れなかったが、もう一つの理由は匿名性だ。多くのブロガーは個人の自由が制限された国家内で活動しているため匿名を用いて自らを守っている。クレジットカードやペイパルのような従来の方法だと、支払い側の素性がばれてしまうのでこうしたブロガーは使えない」匿名性とプライバシーの保護をユーザー側で設定できるので、ビットコインは反体制のブロガーや表現の自由を求める人々にとってこのうえない安全を保障します。

当初は、支払い処理はフロリダ州オーランドに本拠地を置く支払いサービス業者、BitPayが行います。BitPayは売り上げを即時にワードプレスの法人口座に変換して入金するので、ワードプレスは自らの手で支払いを扱わずにすみます。これで、業者側にとっての通貨リスクが最小限に抑えられます。重要な点ですが、業者がビットコインの残高を口座内に残し、後々使うことも設定可能になります。

ワードプレスはビットコインのブロックチェーン認証が十分な数に達するまで待たずに開始する、と表明していますが、オンラインサービスにはほとんど影響がないでしょう。支払いが無効の場合、アップグレードを停止したり削除したりできるからです。

ワードプレスだけが大手組織としてビットコインを扱う期間はすぐに終わりそうです。RedditのCEO、Yishan Wongは先週、Redditゴールド会員用にビットコインを受け付け始めるつもりだ、とほのめかしました。RedditはCondé Nastの親会社であるAdvance Publicationの子会社です。

ビットコインは勢いにのって世界中で業者や消費者を飲み込んでおり、時代遅れで危機感の欠如した支払い方法が取り残されています。ビットコインフォーラムのユーザーが言うように、業者は今後、「ビットコインをどう扱っていますか？」とますます聞かれるようになるでしょう。